

ゼロエミッションへの挑戦

18

2004年3月を最終目標に展開

TDKでは新中期計画「Exciting108」の基本方針のひとつに「Zero Emissionへの挑戦」を掲げています。ゼロエミッションの達成は、当初予定を2年前倒した2004年3月を最終目標とし、国内のTDK本体と国内連結会社のすべての事業所でゼロエミッションの推進に取り組んでいます。実行のために全社ゼロエミッションプロジェクトを結成するとともに、各事業所にて推進基本計画を策定しています。また、海外事業所については、各国の法律や再資源化事業者の状況等を勘案し、5事業所を対象として取り組んでいます。

TDKのゼロエミッション

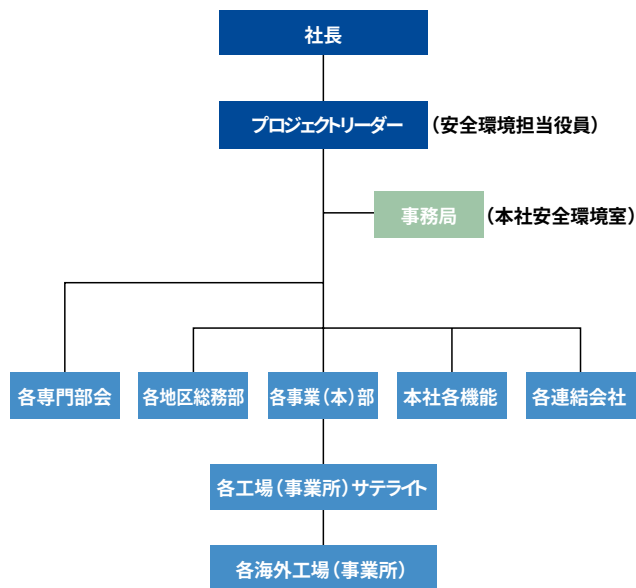
TDKの4大廃棄物は、汚泥・廃油・廃酸・廃プラスチックです。これらの再利用検討、廃棄物処理技術の蓄積も含め、製造方法の改善や工程内リサイクルによって廃棄物を極力出さない工夫、展開を図っています。やむを得ない廃棄物に関しては、減量化・社外再資源化を進め、最終的には100%の再資源化でゼロエミッションを達成とし、6ヶ月以上継続されたことをもってゼロエミッション達成の認定としています。

成功事例を全部門へ応用展開

2000年度は廃棄物の削減・再使用促進に関して、TDKの4大廃棄物のうち、汚泥・廃プラスチックを中心にテーマ展開いたしました。廃棄物を出さないクローズドシステムを目指したフェライトの汚泥回収や、メッキ液の長寿命化のモデル工程を導入し、稼動しております。溶剤回収装置についても実施し、TDK全部門への応用展開を計画しています。また、TDKの全部門において、廃棄物を徹底的に分別することで、再資源化を可能にしました。具体的には、汚泥の製鉄原料やセメント原料への再資源化を積極的に推進。

廃プラスチックに関しても、繊維原料やセメント原料への再資源化を進める努力をしています。

全社ゼロエミッションプロジェクト推進組織図



ゼロエミッション定義

TDKのゼロエミッション：エコファクトリー型ゼロエミッション

事業所から排出される廃棄物について3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底を行ない、最終的には100%の再資源化でゼロエミッション達成とする。

対象物質： TDK廃棄物分類で定める17種類とする。
但し医療廃棄物、し尿は除く。

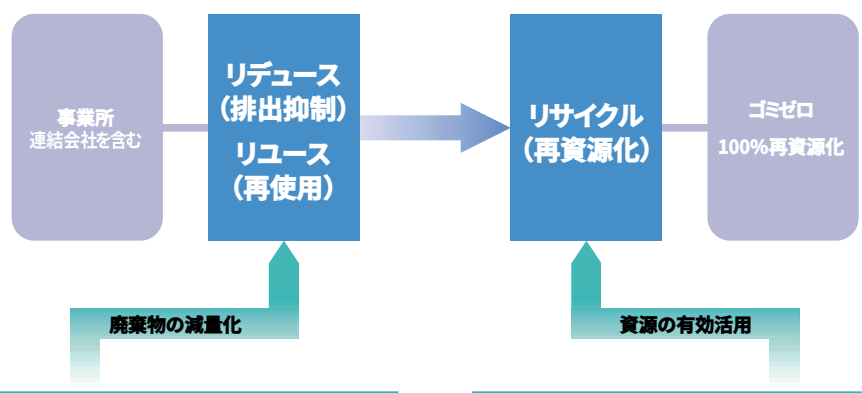
対象範囲： 連結会社を含む、ISO認証取得
もしくは認証取得見込みの事業所を対象とする。

目標期限： 2004年3月
但し海外事業所については、※台湾TDK、TCU、TMD、TRE、BTMTを対象とする。

達成認定： ゼロエミッション達成月から6ヶ月以上継続された
ことの確認を持って認定とする。

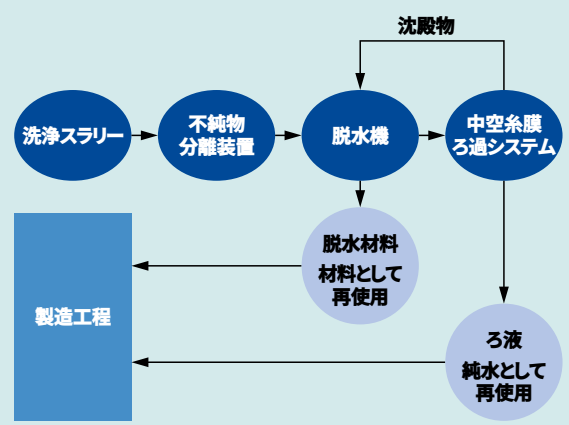
※ 台湾TDK=TDK Taiwan Corporation、TCU=TDK Components U.S.A.,Inc.,
TMD=TDK Manufacturing Deutschland GmbH、TRE=TDK Recording Media Europe S.A.,
BTMT=BT Magnet-Technologie GmbH

ゼロエミッション推進の具体的事例



減量化・再使用促進のための具体的措置

フェライト材料クローズシステム概略

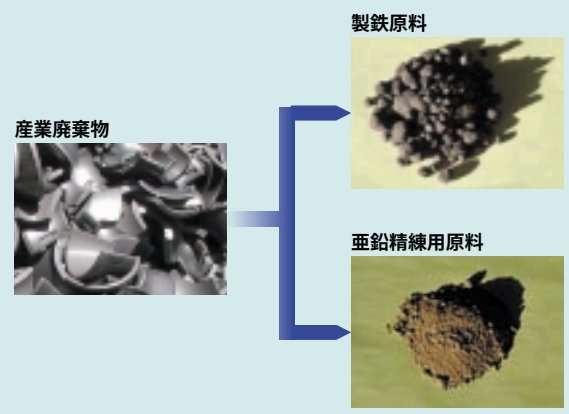


洗浄用廃溶剤の再生装置



再資源化事業分野との連携強化と自主的再生事業への展開

フェライトの製鉄原料への再資源化



PETのカーペット(繊維)への再資源化

